

高校生
アンケート
集計結果

英語の外部検定、大学入試で何使う？

「英検®」を入試利用予定」が約9割

教育出版の株式会社旺文社（東京都新宿区、代表取締役社長 生駒大壱）の教育情報センターは、大学受験ポータルサイト「大学受験 パスナビ」にて、アンケート「英語の外部検定、受験したことある？」を実施し、その結果を、4月11日に発表いたします。

【概要】

実施期間：2018年1月16日（火）～2月28日（水）

回答総数：全体＝1,441人（男女比…男子：517《35.9%》/女子：924《64.1%》）、資料①＝651人

学年別回答率：全体＝高校1年生：18.5% 高校2年生：36.4% 高校3年生：36.4% 浪人生：8.7%

＜大学受験 パスナビ＞ <https://passnavi.evidus.com/>

旺文社が運営する、大学進学を希望する高校生のための国内最大級の大学・短大情報ポータルサイト。年間2億3,500万PV、3,500万UU（2016年度実績）。

＜アンケート結果＞「入試利用する」と回答した人のうち、約9割が「英検」を利用予定

圧倒的多数が「英検」と回答。注目すべき一般入試では、英検と実施団体を同じくする「TEAP」が後に続いています。

⇒【資料①】入試で利用しようとしている検定（全学年計）

＜参考データ＞入試で利用できる外部検定（大学側の採用率）

現在、外部検定利用入試を行っている大学では、英検はほとんどの入試で利用可能（採用率94.4%）。

今回のアンケート結果には、この大学入試での汎用性の高さが影響していると思われます。

⇒【資料②】2018年 一般入試 外部検定 各大学での採用率

＜新テストではどうなる？＞

3月26日、大学入試センターから、共通テストで利用可能な外部検定が発表されました。

ポイントは以下の点になります。

- 認定を受けたのは、英検/TEAP/TEAP CBT/IELTS/TOEFL iBT/TOEIC L&R,S&W/GTEC/ケンブリッジ英語検定。
 - 英検は新方式が認定（「公開会場実施」「1日完結型」「英検CBT」）。
 - 新方式は、実施方法が異なるものの、級やスコア、問題構成等は「従来型」と同様。特に「公開会場実施」はほぼ同じ。
 - 今回の認定は「共通テストで使える検定」。各大学の独自入試では「従来型」も引き続き利用可能。
- いよいよ新テストに該当する高校1年生が入学し、今後の動向が注目されます。

【会社概要】株式会社 旺文社

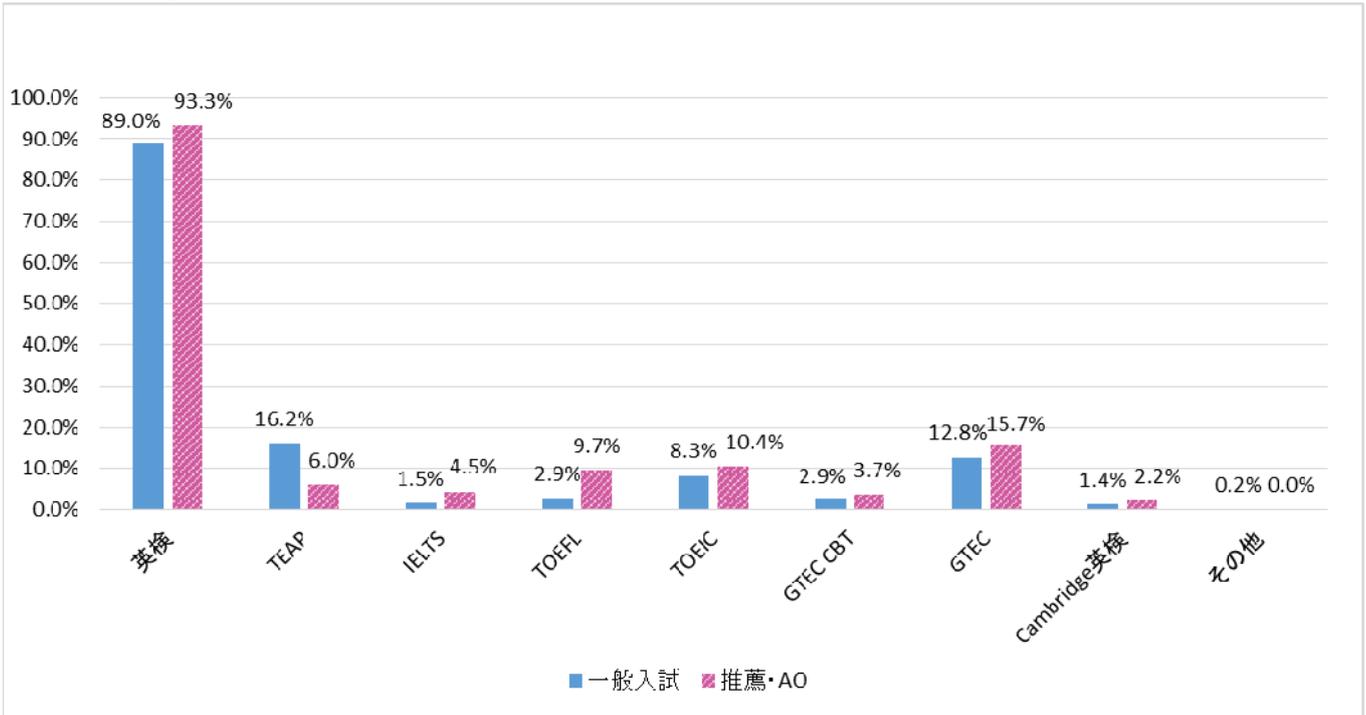
代表者 : 代表取締役社長 生駒 大壱
 設立 : 1931年10月1日
 本社 : 〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 / TEL.03-3266-6400
 事業内容 : 教育・情報をメインとした総合出版と事業
 U R L : <http://www.obunsha.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社旺文社 広報担当

TEL: 03-3266-6400 / FAX: 03-3266-6849 / E-mail: pr@obunsha.co.jp

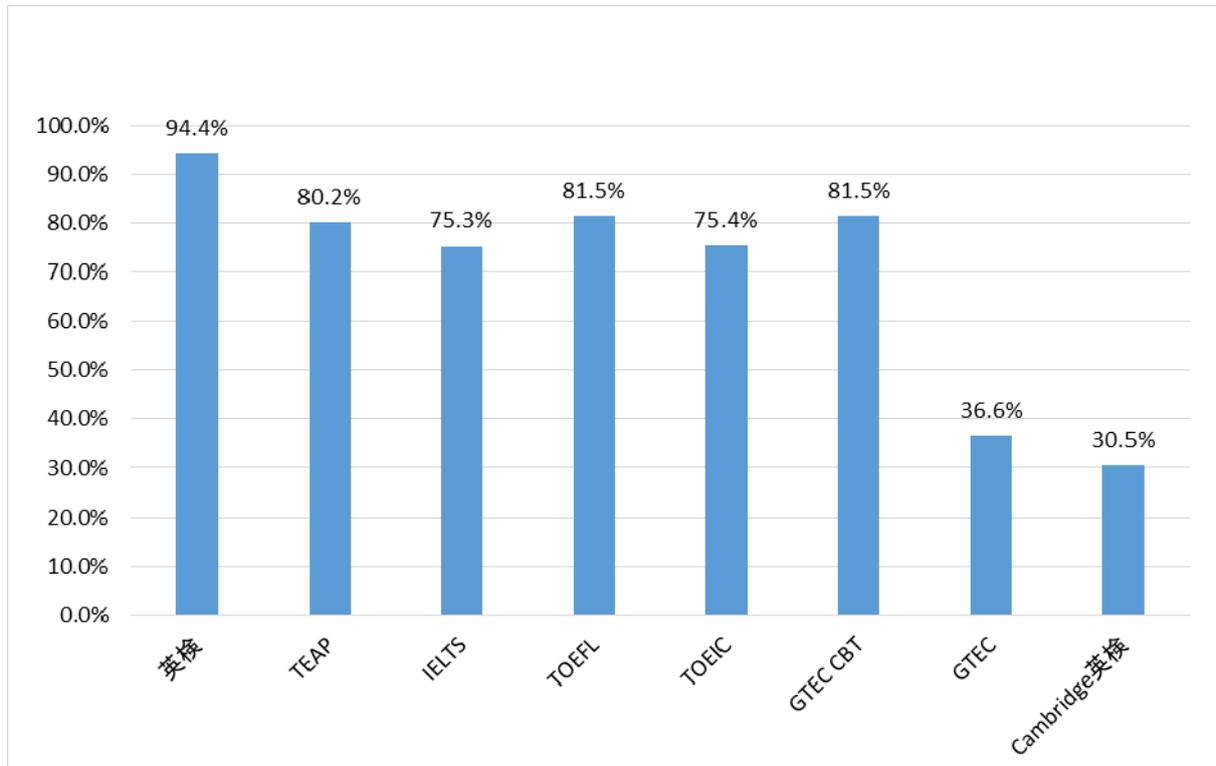
資料① 入試で利用しようとしている検定（全学年計）

回答者：651人



※アンケート回答者1,441人のうち「外部検定を入試で利用する」と回答した人に対する質問(回答者651人)。
 ※複数回答。※高3・浪人生には2017年度に受検した検定を質問。

資料② 2018年 一般入試 外部検定 各大学での採用率



※ 各大学の外部検定を利用する入試（一般入試）の中で、それぞれの検定が「利用可」とされている割合。
 ※ 原則、学科単位で集計。1 学科で複数の入試方式がある場合、外部検定の利用方法が同じなら「1」、異なれば別々に集計。
 ※ 各外部検定の採用については、募集要項等に掲載されているものすべてを計上。「それに準ずる検定でも出願可」などの記載の場合は、上記すべての検定が採用されているとして集計。